1211

【6台の水中投下したEnddeviceからのマルチホップ実験】

ダイアグラム

自動的に生成された説明

各水中にあるEnddeviceからCoordinatorへの送信は5秒間隔で行った．

この実験では手作業のため，タイムラグがあり，５秒ごとに一気にCoordinatorに全データが来るわけではない．以下が受信データの一部である．

テーブル

自動的に生成された説明

【同時刻 (5秒間隔) で送信するよう制御する実験】

１　全Enddeviceにブロードキャスト通信でコマンドを送信．

２　Enddeviceでコマンドを受信後，その時刻から一斉に５秒間隔でCoordinatorへ送信．

３　以降，５秒間隔でCoordinatorに送信する．

【送信台数を徐々に増加させていく実験】

１　始めにEnddevice①②だけにマルチキャスト通信でコマンドを送信．

２　コマンドを受信後，その時刻から５秒間隔でCoordinatorへ送信．

３　一定時間経過後、追加でEnddevice③④にマルチキャスト通信でコマンドを送信．

４　コマンドを受信後，その時刻から５秒間隔でCoordinatorへ送信．

５　一定時間経過後、さらに追加でEnddevice⑤⑥にマルチキャスト通信でコマンドを送信．

６　コマンドを受信後，その時刻から５秒間隔でCoordinatorへ送信．

【異なる時刻での送信】

１　全Enddeviceにブロードキャスト通信でコマンドを送信．

２　Enddeviceでコマンドを受信後，各Enddeviceで設定している時間間隔でCoordinatorへ送信．１秒間隔，２秒間隔，５秒間隔で送信するEnddeviceを２台ずつ用意する．

実際は，Enddeviceは6台，Router3台，Coordinator１台使用する．

ダイアグラム

自動的に生成された説明